

山口武典(監修), 今井 保, 峰松一夫(編)

「DVD で学ぶ脳血管障害の理学療法
テクニック—病巣病型別アプローチが
わかる動画 73—」

林 義孝

(大阪府立大学名誉教授・医療法人瑞穂会理事)

本書を手にとり、この分野において臨床的感性を備え、信頼性と実践的内容に満ちあふれた、他に類を見ない画期的な専門書が、やっと世に出てきたとの思いがします。

わが国に 8 施設ある国立高度専門医療センターのひとつである国立循環器病センター(現, 国立循環器病研究センター)は、1977 年の設置以来、脳卒中の治療と研究で世界をリードしてきました。その第一線で活躍する脳卒中専門医師とリハビリテーションを担う理学療法士の協同作業によって、長年にわたる膨大な臨床症例の蓄積からなる科学的エビデンスに基づき、いま注目を集める「病型・病巣部位の違いによる特徴的な症候に対応する理学療法」の実際が、責任病巣部位の画像写真による説明と組み合わせられ、実にわかりやすく解説されている構成は、読む者の理解を飛躍的に促進してくれます。

この書では、脳卒中片麻痺に対する理学療法につい

て、このテクニックこそが唯一絶対であるとする、偏狭な考え方に一定の距離を置き、運動障害を脳血管障害の症候のひとつとして客観的に捉えることが、理学療法実施時のリスク管理や効果的な理学療法テクニックの選択に有効であるとする視点は、ともすれば運動障害の評価と理学療法テクニックの選択のみにとらわれがちな、とりわけ理学療法課程の学生や若い年齢層の理学療法士に、心強い教科書となるといえます。

評者は、私たち理学療法士が脳卒中患者の臨床病態像を正しく理解できるようになるためには、一定の期間を定め脳卒中専門医師の診察に立ちあう機会を与えられることが、卒前・卒後教育の一環として必要であると、強く認識してきました。それが、本書の DVD に、脳卒中専門医師による診察の実際がすべて収録されていることで、全国の理学療法士と学生が、専門医師の診察の実際を共有することが可能となり、心地よい達成感を覚えます。

本文の随所に記載されている、ワンポイントアドバイス欄を読めば、本書が机上の空論の理学療法技術論を排し、脳卒中患者と共に歩みながら、多くを学び教えられてきたことの集大成とする執筆者達の姿勢がうかがえ、本書の読者に強い信頼感を与えてくれることでしょう。

●B5 判・228 頁

定価 6,825 円(本体 6,500 円+税)

2010 年 4 月 南江堂・刊